



平成 23 年 6 月 29 日

各 位

会 社 名 アドアーズ株式会社  
代表者名 代表取締役会長 藤澤 信義  
( J A S D A Q ・ コード 4712 )  
問合せ先 取締役 沖 聡  
(TEL. 03-5623-1115)

## 支配株主等に関する事項について

当社の支配株主等に関する事項は、下記のとおりとなりますので、お知らせいたします。

記

### 1. 親会社、支配株主(親会社を除く。)又はその他の関係会社の商号等

(平成 23 年 6 月 29 日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券が上場されている金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
株式会社ネクストジャパンホールディングス	その他の関係会社	34.17	0.00	34.17	東京証券取引所 マザーズ市場
GF 投資ファンド投資事業有限責任組合	その他の関係会社	34.13	0.00	34.13	—
株式会社ガイア	その他の関係会社	0.00	0.00	0.00	—

※当社の平成 23 年 3 月 31 日時点の大株主状況を前提に、平成 23 年 6 月 28 日に株式会社ネクストジャパンホールディングスへ割り当てました普通株式 15,000,000 株を加味しております。

※GF 投資ファンド投資事業有限責任組合ならびに株式会社ガイアは継続開示会社等ではありません。

### 2. 親会社等のうち、上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の商号又は名称及びその理由

上記のとおり、当社には複数の「その他の関係会社」が存在しますが、株式会社ネクストジャパンホールディングスが当社に与える影響が最も大きいと認められる会社と認識しております。

株式会社ネクストジャパンホールディングスとは、平成 21 年 5 月 13 日付「アドアーズ株式会社と株式会社ネクストジャパンホールディングスの資本・業務提携に関するお知らせ」ならびに、同 9 月 14 日付「アドアーズ株式会社と株式会社ネクストジャパンホールディングスの資本・業務提携の強化に関するお知らせ」で開示しましたとおり資本業務提携を締結し、また平成 22 年 3 月 3 日付「第三者割当による自己株式の処分およびその他の関係会社の異動に関するお知らせ」、更には平成 23 年 5 月 24 日付「第三者割当による新株式発行および主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」の開示とおり、同社へ自己株式の処分ならびに第三者割当増資を実施するなど、筆頭株主への異動や役員  
の兼務を含めて、緊密かつ強固な協力体制を構築しており、このことから当社において最も影響が大きいと認められる関係会社であると判断しております。

なお、今回の第三者割当増資以前に筆頭株主でありました GF 投資ファンド投資事業有限責任組合との間に人的関係および取引関係はなく、また、株式会社ガイアは「財務諸表等規則第 8 条第 16 項チ」で定義される「提出会社の主要株主及びその近親者が議決権の過半数を自己の計算において所有している会社及び当該会社の子会社」として「その他の関係会社」に該当致しますが、同社とは直接的な資本関係ならびに人的関係は有しておりません。

### 3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

#### ①親会社等の企業グループにおける上場会社の位置づけ、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本関係

前項で記載のとおり、当社は株式会社ネクストジャパンホールディングスと資本業務提携契約を締結しております。この契約ならびに当社自己株式の処分および第三者割当増資の引き受けに伴い、資本面では同社は当社株式を発行済株式総数に対する割合で 32.9%有しており、結果、当社は同社の持分法適用会社に該当致します。なお、当社も資本業務提携契約に基づき、同社株式を発行済み株式総数に対する割合で 9.9%保有する株式の持合関係を継続しております。

また資本業務提携の一環として、昨年度においては代表役員の相互派遣を実施しておりましたが、平成 23 年 5 月 24 日付「代表取締役の異動ならびに役員・監査役の異動に関するお知らせ」とおり、同社の元代表取締役であり、かつ同社の筆頭株主でもある当社取締役の藤澤信義氏が、同日より当社代表取締役の任にあたっております。また、平成 23 年 6 月 27 日の当社定時株主総会にて同社取締役の 2 名について当社取締役の兼務をすることを決議しております。

実務面におきましても同社子会社の株式会社ブレイクより景品の一括仕入を行っているほか、互いの事業ノウハウの交換や新業態の展開のための人的交流を図っております。

#### (役員の兼務状況)

役職	氏名	親会社等又はそのグループ企業での役職	就任理由
代表取締役会長	藤澤 信義	「その他の関係会社」である株式会社ネクストジャパンホールディングス 取締役会長	資本業務提携ならびに第三者割当増資引受を含む、当社経営改革のため
取締役社長	中川 健男	「その他の関係会社」である株式会社ネクストジャパンホールディングス 社外取締役	資本業務提携に基づき両社の親和性向上のため
取締役	沖 聡	「その他の関係会社」である株式会社ネクストジャパンホールディングス 取締役	第三者割当増資引受を含む、当社経営改革のため
取締役	恩田 聖敬	「その他の関係会社」である株式会社ネクストジャパンホールディングス 取締役	第三者割当増資引受を含む、当社経営改革のため

#### ②親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社等やそのグループとの取引関係や人的・資本関係などの面から受ける経営・事業活動への影響など

前述のとおり、当社は株式会社ネクストジャパンホールディングスとの資本業務提携にあり、過去からも、経営レベルでの意見交換や両社の社風を理解することによる提携関係の強化を目的とした、役員の相互派遣を実施しております。その上で、平成 23 年 6 月の第三者割当増資の引受けを含む、当社経営の建て直しや改革を目的に、同社の取締役である藤澤信義氏を当社代表取締役会長として経営の任にあたっていただいたほか、同社からの役員 2 名を管理担当役員として招聘しております。

しかしながら同社からの兼任取締役が半数に至る状況にはなく、双方の利益相反関係となる決議事項については代表取締役である藤澤氏はその決議から外れるほか、代表取締役のみの決裁となる案件につきましても、規定により当社の経営にあたる影響が少ないものに限られており、相反取引による問題が生じることはきわめて少ないものと考えております。さらに当社取締役社長の中川健男は同社の社外取締役へ就任しているように、同社と密接な協力関係の立場を維持しながら一定の牽制関係を主体的に構築するよう努めており、経営の独立性については確保されていると考えております。

なお当社ならびに同社は、アミューズメント施設運営事業を中核としておりますが、同社との出店地域・形態ならびに客層等を鑑みた場合においても競合関係となる店舗・アドバンテージは少なく、資本業務提携先として互いの独自性を尊重しあいながら、良好な協調関係のもと事業を展開しております。現場レベルにおきましても相互で少数の人材の出向を受けておりますが、これも資本業務提携の一環として互いのノウハウ交換を潤滑に行うことによるシナジー効果の最大化を目指すものであり、相互の要請に基づくものとして、互いの自由な事業活動に影響するものではありません。また、同社子会社のブレイク社からの景品一括仕入につきましても、一括手配による仕入価額の削減や業務削減に伴うコスト削減効果、更には人気景品の確実な仕入を前提とした契約であり、同じく阻害される

状況は起き得ないと考えております。

設計・施工事業などのその他の事業におきましては、独自の事業として当社単独の事業展開をしております。

### ③親会社等からの一定の独立性の確保の状況

当社はネクストジャパンホールディングスと緊密な協力体制を保ちながら、そのシナジー効果をもってアミューズメント業界における事業競争力を互いに高めあっていく方針を掲げておりますが、互いの事業ノウハウや業界での地位を尊重しあった上での協力体制である上、兼任取締役や出向者の状況は、上記記載のとおり、独自の経営判断・事業活動を妨げるものではなく、高い独立性が確保されているものと認識しております。

## 4. 支配株主等との取引に関する事項

当社の筆頭株主であり「その他の関係会社」である株式会社ネクストジャパンホールディングスおよびそのグループ会社、また株式会社ガイアおよびそのグループ会社との取引については、「平成23年3月期決算短信（非連結）」40項～41項に記載しております「関連当事者情報」に記載の通りであり、一般取引先と同様の条件にて取引を行っております。なお、同じく「その他の関係会社」に属するGF投資ファンド投資事業有限責任組合との間に取引関係はございません

## 5. 支配株主等との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

親会社等との取引条件につきましては、「4. 支配株主等との取引に関する事項」記載のとおり、市場実勢を勘案した他の取引先と同様の取引条件によっており、少数株主に不利益を与えることがないように適切に対応しております。

## 6. 親会社等の将来的な企業グループにおける位置づけその他親会社等との関係

株式会社ネクストジャパンホールディングスとは、これまでの相互信頼関係のもと、今後も協力関係を強化していくことで、事業及び資本関係は友好的に継続するものと考えております。またGF投資ファンド投資事業有限責任組合からも当社企業価値の向上を見据えた長期保有の意向を継続して頂いており、当社との関係において変更ないものと考えております。

以 上